

「機械いじりが好きだった」と話す川本さんが自動車整備業を開業したのは、平成19年のことでした。専門学校を卒業後、日産のディーラーで4年勤め、钣金塗装の修業を8年し、現在に至ります。平日のうち3日はバイトの人がいるようですが、あとは1人で切り盛りしています。

「開業当初、お客さんは友人・知人でした。だんだんお客さんがお客さんと呼んで増えてきました。1人なのでどうしても手が離せないとき、体調が悪いときなんかは困りますね。どんな理由があれ、納期には間に合わせないといけないんですから」と責任感の強い川本さん。声のかかった仕事は、何でもやってみるそうです。

「前の職場では、はなからできないと言わず、車のことから断らずにやるということを学びました。だからそのときにいる工具をその都度買って、機械を徐々に揃えています」

こうして経営規模を大きくしている川本さんですが、「夢は大きく、視野は広いほうがいいのだろうけど、何よ

りも地域に密着した車屋さんになりたいですね。まずは身近なところから。農家のトラクターを修理したり、近くでなんかあったら飛んでいったりするような、そんな地元根付いた車屋さんになりたいです」

と語ってくれました。最後に、若い人に向けてコ

メントをいただきました。「こういう時代ですから、夢や希望を持ってないという人もいるかもしれませんが、自分も最初は漠然としたものしか持っていなかった。だけど、やらずに後悔するよりはやりたかった。皆さんも、これがやりたいたいという目標を持って、ぜひチャレンジしてください」

やらずに後悔するよりは、やりたかった。

川本 和孝さん



●Profile

かわもと かずたか

北川原在住の35歳。平成19年1月、自動車整備業「トータル・ケイ」を開業。